

市民と議会を結ぶ架け橋

# 議会だよい

上野原市

No.78

令和6年  
8月発行

6月定例会



特集

うえのはらで頑張る人  
西東京パラグライダー  
スクールのみなさん

特集 うえのはらで頑張る人	2
定例会で決まった主なこと	4
議決結果等一覧表	6
会期中の審査	7
予算特別委員会	8
一般質問	9
閉会中の委員会活動	14
市民の声	16



## うえのはらで頑張る人 Vol.31

### 大空を舞う西東京パラグライダースクール



若者から高齢者まで大空を舞う素晴らしさが体感できるパラグライダースクールの皆さんにお話を伺いました。

校長以外に5人のスタッフで運営しています。スタッフの皆さんには本業を持っていて、時間のある時(週2日~3日程度)に手伝ってもらっています。中には上野原に移住して運営に携わっている方もいます。スタッフは地元のお祭りへ参加し、地元住民には山頂の飛び出し場での飛行見学や、冬の降雪時に山道の雪かきを手伝つてもらったりと親密に交流しています。地元の皆さんのが運営に協力的で非常にありがとうございます。

#### スクールの運営と地元との交流は

山梨県へ訪れるたびに談合坂SAから見える不老山に良い雲がかかり、その上昇気流の流れがパラグライダーには最適なロケーションであること、東京から近いことも利点であると思い、この地に2013年開設しました。



#### スクール開設のきっかけは

大空へのあこがれを胸に  
大勢の愛好者が集う不老山

## 特集 うえのはらで頑張る人

### 利用者数とその範囲は

コロナ禍前は年間2000人程度でしたが、昨年は2600人と大幅に増加しています。業界でも上位にランクされています。利用者は東京からが7割で、あとは神奈川や埼玉など近郊です。来場者の6割は電車で来られ駅まで無料送迎をしています。

### パラグライダーの醍醐味は

最初のフライトの時には皆さん顔が真っ青。緊張の塊状態ですが、飛び立った瞬間は「大丈夫じゃん」となり感動に変わるそうです。そこから病みつきになり5年、10年と毎週通われる常連客も大勢います。

### 初心者から上級者まで利用者の構成は

始めての方はタンデムフライト（一人乗り）で教官の操作で遊覧します。一度経験したい、飛んでみたい人の申し込みが利用者の中で一番多いです。フライトに来られる方は当施設で一人で乗れるようになりたい方と他の施設でも一人で乗れるための免許証を取得するために通われる方です。年代別には20才代の体験が最も多く、70才代まで幅広いです。

最初は平地で飛び出す練習を4日間300回ぐらい行います。全国どこでも一人で飛べる免許証の取得は、一人乗りで週1回、2年間の訓練が必要です。

### 利用者の声を聴いてみました



男性71歳・59歳から  
始めて12年間続けています。毎週土曜日に来て、美味しいものを食べて一日間楽しんで帰ります。80歳まで飛べるよう頑張りたいです。



### 取材を終えて



開校して10年、期間中コロナ禍もあり運営に大変ご苦労されたと思います。地元の方々と日々交流もあり、そして多くの人が来ていることを聞き嬉しく思いました。山頂の飛び出し場、不老山からの眺望も素晴らしく感激しました。市民の皆さんも鳥のように大空を飛ぶ体験をしてみてはいかがでしょうか。上野原の素晴らしい自然や景観を知る良い機会となりました。

### 一人で飛ぶための訓練・練習は

### 議会や行政への要望は

お客様の半数以上は電車で来られますが、駅までの送迎をしていると帰りにお土産を買うところが少ないです。年間を通しての利用が多いので地元の新鮮な野菜などの販売所があれば良いと思います。開設時には「ふるさと納税の返礼品」に参加していましたが、システムが変わり申請が複雑になつたことから今は取り止めています。尚、山頂からの眺望の良さやフライトを見学するのであれば、いつでも協力します。また、市内の学校などへも出向き。パラグライダーの体験（地上）でも行います。声をかけてください。



女性70歳代..飛び出す練習を地上で

300回練習しました。飛んでるときは  
ブランコと同じ感覚で怖くありません。  
飛んだ後は毎回元気になつて帰ります。



大変ご苦労されたと思います。地元の方々と日々交流もあり、そして多くの人が来ていることを聞き嬉しく思いました。山頂の飛び出し場、不老山からの眺望も素晴らしく感激しました。市民の皆さんも鳥のように大空を飛ぶ体験をしてみてはいかがでしょうか。上野原の素晴らしい自然や景観を知る良い機会となりました。

## 定例会で決まった主なこと

### 6月定例会

## 定例会で決まった 主なこと

令和6年第2回定例会が6月5日から21日まで17日間の日程で開かれました。

### 審議された議案

市長提出議案  
計 16件

※議案名・議決結果等は6ページをご覧ください。

### 条例改正

#### 地方税法等の一部を改正

議案第46号

専決処分の承認を求めるについて（上野原市税条例の一部を改正する条例制定について）

### 条例制定

#### 中学校の部活動の地域移行に 取り組む協議会を設置

議案第55号

上野原市部活動地域移行推進協議会条例制定について

### 条例改正

#### 国民健康保険税条例の一部を改正

議案第47号

専決処分の承認を求めるについて（上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について）

令和6年度税制改正による地方税法等の一部を改正する法律等の公布に伴い、国民健康保険税の課税限度額及び軽減措置に係る軽減判定所得の基準額の改正を行うものです。

施行日 令和6年4月1日

- 個人住民税  
令和6年度分個人住民税から、納税者及び配偶者を含めた扶養親族1人につき1万円を控除します。

施行日 令和6年4月1日

- 固定資産税  
現行の負担調整措置、条例減額制度を令和6年度から令和8年度までの3年間延長します。

施行日 令和6年4月1日

国における公立中学校の部活動の段階的な地域移行への方向性を踏まえ、市立中学校の生徒にとって望ましいスポーツ・文化活動の環境構築と中学校教職員の負担軽減を図る観点から、地域移行に向けた課題に総合的に取り組むための協議会を設置します。

まずは、休日の部活動について、学校や地域が連携を図りながら地域移行を進める予定です。

# 定例会で決まった主なこと

議案第53号 上野原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について

## 条例改正

### 市職員の休暇等に関する条例改正

近年の社会情勢の変化に鑑み、市職員の特別休暇における「男性職員の育児参加休暇」の名称を「育児参加休暇」に改めるとともに、夏季休暇の期間を、他市の状況に合わせて「3日以内」から「5日以内」に改めるものです。

議案第54号

上野原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

## 条例改正

### 保育士等の職員配置基準

小規模保育事業及び事業所内保育事業における保育士等の職員配置基準を、満3歳以上満4歳に満たない児童について「20人」から「15人」に、満4歳以上の児童について「30人」から「25人」に改めるものです。

議案第59号

消防団用小型動力ポンプ付軽積載車4台購入契約締結について

## 契約締結

### 消防自動車4台の購入契約締結

条件付一般競争入札により、(有)中村ポンプ工作所(甲府市)と購入契約を締結しました。

消防団用小型動力ポンプ付軽積載車

4台 3533万2千円

議案第60号 上野原市固定資産評価員の選任の同意について

## 人事案件

### 固定資産評価員の選任の同意

令和6年6月30日をもって評価員川田利一氏が退任するので、その後任を選任するにあたり、地方税法第404条第2項の規定により、議会の同意を得る必要があります。

上野原市固定資産評価員

桑名定則 氏



## 令和6年第2回定例会議決結果等一覧表

### ◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案件名	審議結果
46	—	専決処分の承認を求めることについて（上野原市税条例の一部を改正する条例制定について）	承認
47	—	専決処分の承認を求めることについて（上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について）	
48	—	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度上野原市一般会計補正予算（第7号））	
49	—	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算（第4号））	
50	—	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号））	
51	—	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度上野原市介護保険特別会計補正予算（第4号））	
52	—	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号））	
53	総務産業	上野原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	
54	文教厚生	上野原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決
55		上野原市部活動地域移行推進協議会条例制定について	
56	予算特別	令和6年度上野原市一般会計補正予算（第1号）	
57	—	令和5年度上野原市繰越明許費繰越計算書の報告について	受理
58	—	令和5年度上野原市事故繰越し繰越計算書の報告について	
59	総務産業	消防団用小型動力ポンプ付軽積載車4台購入契約締結について	可決
60	—	上野原市固定資産評価員の選任の同意について	同意
61	—	令和6年度上野原市一般会計補正予算（第2号）	可決

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

### 市議会の普通救命講習会



令和6年7月3日に、議員13名が普通救命講習会を受講しました。消防本部から警防救急担当3名と、防災リーダー支援の会の木口通さんを講師に迎え、約3時間にわたり実技を行いました。

## 総務産業常任委員会

委員長 清水一明  
副委員長 遠藤美智子  
委員 天野淳一  
安留俊介  
内田倫弘  
山口 薫  
杉本公文

6月12日、委員会を開催し、付託された条例制定1件、契約締結1件について審査しました。

議案第53号「上野原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例」の一部を改正する条例制定については、市職員の特別休暇においては、市職員の育児参加休暇」の名称を「育児参加休暇」に改めるとともに、夏季休暇の期間を「3日以内」から「5日以内」に改めるものです。

委員からは、県も男性職員の育児休業取得促進策を進めていることから、当市においても積極的に取得促進を図るべき、との意見が出されました。

議案第59号「消防団用小型動力ポンプ付軽積載車4台購入契約締結について」は、消防団用の小型ポンプ車の契約を行い、秋山第一分団第1部寺下、秋山第二分団第3部安寺沢班、大秋

鶴分団第1部、上野原分団第5部の4箇所に配備するものです。

契約金額は3千533万2千円で、契約相手が有限会社中村

ポンプ工作所に決定しました。

採決の結果、いずれも全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

続けて、視察事項の検証について所管事務調査を行いましたが、引き続き検証を行うべきとの意見が出され、閉会中の視察調査とすることと決定しました。

また、移住相談員の各地区への配置についても、閉会中の視察調査とすることとしました。



## 文教厚生常任委員会

委員長 白鳥純雄  
副委員長 佐藤澄男  
委員 小俣 崇  
八木一雄  
川田好博  
東山洋昭  
長田喜巳夫

6月12日、委員会を開催し、付託された条例制定2件について審査しました。

議案第54号「上野原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について」は、小規模保育事業及び事業所内保

育事業における保育士等の職員配置基準を改めるもので、満3歳以上満4歳に満たない児童については、20人につき1人から15人につき1人に、満4歳以上の児童については、30人につき1人から25人につき1人へ改めるものです。

議案第55号「上野原市部活動地域移行推進協議会条例制定について」は、中学校の部活動において、教職員の負担軽減や生徒数の減少に対応するため、市立中学校における休日の部活動について段階的な地域移行に向

けた課題に取り組むための協議会を設置するものです。

以上、当局提出2案件について、いずれも全会一致で可決すべきものと決定しました。

また、先日会派の未来クラブから提出された「簡易水道組合事業等支援対策について」、内容の協議・検討を閉会中の視察調査とすることとし、加えて、文化財の保管・展示状況についても、閉会中の視察調査することに決定しました。

議案第55号「上野原市部活動地域移行推進協議会条例制定について」は、中学校の部活動において、教職員の負担軽減や生徒数の減少に対応するため、市立中学校における休日の部活動について段階的な地域移行に向



# 予算特別委員会

議案第48号 専決処分の承認を求めることについて（令和5年度上野原市一般会計補正予算（第7号））

## 補正予算

**補正総額3億388万8千円の**

### 予算計上

5月29日に開かれた予算特別委員会で、財政経営課より説明を受けました。

- 総務費 ▲957万4千円（人件費▲60万8千円）
- 役所庁舎棟・文化ホール棟・倉庫棟外装修繕設計の完了に伴う減額 ▲442万2千円
- 特産品開発補助金の確定に伴う減額 ▲100万1千円
- 民生費 ▲4113万4千円（人件費12万5千円）
- 高齢者の保健と介護予防の一体的実施事業

- 後期高齢者医療費
- 住民非課税世帯に対する臨時特別支援事業
- ▲1026万6千円
- ▲125万円

- 農林水産費 ▲1122万4千円（人件費1万8千円）
- 森林環境整備事業
- 商工費
- 商店街等応援事業
- 消防費
- 救急車購入費
- 諸支出金
- 財政調整基金費
- 公共施設整備基金費
- ふるさとまちづくり基金費
- 森林環境基金費

- 4億1822万8千円
- ▲302万9千円
- ▲422万8千円
- ▲508万円
- 2億4千円
- ▲571万3千円
- 1114万2千円
- 200万円

議案第56号 令和6年度上野原市一般会計補正予算（第1号）

## 補正予算

**補正総額3億4077万7千円の**

### 予算計上

6月10日に開かれた予算特別委員会で、補正予算の審査が行われました。

- 議会費 1687万7千円
- 議場のシステム改修に伴う修繕費 1687万7千円
- 総務費 2億5554万円
- 秋山老人福祉センター代替施設検討業務及び郵便料 706万6千円
- 低所得者支援及び定額減税補足給付金事業費 2億4379万9千円
- 衛生費 4790万8千円
- 新型コロナワクチン予防接種事業費 4729万8千円
- 土木費 345万7千円
- 住宅対策費（木造耐震診断・改修等） 345万7千円
- 教育費 1693万2千円
- 文化財展示室整備事業 1288万1千円
- スポーツ施設整備事業 361万円

議案第61号 令和6年度上野原市一般会計補正予算（第2号）

## 補正予算

**補正総額948万8千円の予算計上**

主に、市役所庁舎等改修事業と学童保育事業の補正予算です。

## 一般質問

### 簡易水道組合等の直営化について



清水一明



質問 条件の整った簡易水道組合から、順次市の直営にすべきではないかと考えますが、市の考えは。

答弁 各簡易水道組合を市で管理する場合の課題や予算を具体的に調べるため、9月補正で準備調査委託業務の計上を考えていました。

質問 市が水質管理を行っていない水道組合についてはどのように考えているか。

答弁 区長に協力いただきながら、未把握だった水道組合の調査を実施予定で、準備調査委託業務で詳細を把握していきたいです。

質問 修繕費も年々増加傾向にあるため、施設の維持管理について、更なる財政支援が今後必要になると思うが。

答弁 水道組合の補助金の対応に繰入金のため、関係部局と協議を進めたいと思います。水問題は、地域の過疎化や

移住者等の定住に支障をきたす要因です。これまでの経緯等を踏まえて、市長の考えは。

答弁 担当課で予定している準備調査の結果などを踏まえ、各簡易水道組合と協議したうえで、条件の整った所から順次市で管理できるよう

に進めていきたいです。

他に、災害時の生活用水の確保についてと書かない窓口について質問しました。

質問 厚生労働省は4月19日、2018年～2022年の合計特殊出生率を発表している。山梨県は1・32、全国平均は1・20となっています。6月5日には昨年人口動態統計も発表している。この二つの当市の状況と結果をどう捉えているか。

答弁 当市の合計特殊出生率は前回より0・9ポイント減の1・07となっています。

また人口動態統計の昨年の出生数は61人となり5年前と比べると20人減少しています、人口減少に歯止めがかっていらない状況と認識しています。

質問 当市の出生率は県下で最下位となっている。令和5年度の出生数並びに1月から12月の出生数は、59人と64人です。

答弁 市の調査によると平成28年から1・0を切り8年間改善が見られない。改め

### 合計特殊出生率 社会減と自然減について



長田喜巳夫



て改善策をどう考えるか。

答弁 現状の分析や市民ニーズを把握していくことから始まると考えています。

答弁

第3期の総合戦略の策定

に向け、未来会議など通じて多様な意見を把握

ていきます。

質問 社会減と自然減の関連をどう捉えているか。

答弁 一方が改善しても歯止めがかけられないと思います。

社会減を改善できれば必然的に自然減に影響していくことになる。子育て世代が移住してくれれば出生数は増えることになることから移住対策が重要なとなる。

質問

意見

社会減を改善できれば必然的に自然減に影響していくことになる。子育て世代が移住してくれれば出生数は増えることになることから移住対策が重要なとなる



## 一般質問

### 若者議会・高校生議会の開催について 市役所窓口に軟骨伝導イヤホンの設置



遠藤美智子

質問 本市総合戦略の重点目標に

「若者が住みたくなるまちづくり」とある。目標実現

のためには若者の声を拾いあげ、その声をまちづくりに反映することが肝要。若者議会や高校生議会等を開催し、直接若者の声を聞く機会を増やすべきでは。

答弁①多くの若者が市政に関心を持つていただくためにも若者議会のような機会を増やしていきたいです。また、開催する努力をします。

答弁②市教育委員会としても、高

校生や若者の声を聞く方法論を含め、今後、関係各課と協議を行い高校生議会や若者議会は推進していくものと考えます。



軟骨電動イヤホン

聞こえにくい方との窓口対応の現状と、軟骨伝導イヤ

ホン導入について考えは。

答弁 現在、窓口に備えてある筆談ボードを使用、時には大きな声で対応しています。軟骨伝導イヤホンは、相談支援・情報提供体制の充実に寄与するものと考えます。

プライバシー保護の観点からも安心して利用しやすい窓口になるよう、導入の方

向で検討していきます。

質問 孤立集落が発生した場合は。

答弁 各避難所への分散備蓄、各支所出張所への一P無線機・衛星携帯電話の配備、

アマチュア無線クラブとの協定締結による情報連携、民間施設管理者も含めたヘリコプター離着陸場の確保などを行い、孤立の状況や

被害等に応じて救助、物資等の対応と早期孤立集落の解消に注力します。

災害時のドローンの活用は。

答弁 人が立ち入ることの出来ない場所を撮影することが可

能となることから、活用できれば有効な手段となりますが、一方で熟練した操縦者育成の難しさや、二次被

害などの危険性も懸念されますので、今後検討していきたいと思います。

質問 障がいの方が指定避難所へ避難しようと思つても大変だと思いますが、避難所の受入体制は。

質問

避難所での長期的な生活

が困難な場合は、福祉避難所へ移動する形を想定しています。福祉避難所は総合福祉センターふじみを指定しており、市内

6箇所の社会福祉施設と

福祉避難所の協定を締結

しています。障がいのある方が避難所での生活に

支障をきたす場合に、段階的ではありますが、7

箇所の福祉避難所への受け入れを想定しています。

他に、支援物資の備蓄

と地域防災リーダーの育成について質問しました。



佐藤澄男

質問

本市総合戦略の重点目標に

「若者が住みたくなるまち

づくり」とある。目標実現のためには若者の声を拾いあげ、その声をまちづくりに反映することが肝要。若者議会や高校生議会等を開催し、直接若者の声を聞く機会を増やすべきでは。

答弁 現在、窓口に備えてある筆談ボードを使用、時には大き

きな声で対応しています。軟骨伝導イヤホンは、相談支援・情報提供体制の充実に寄与するものと考えます。

質問 聞こえにくい方との窓口対応の現状と、軟骨伝導イヤ

ホン導入について考えは。

答弁 現在、窓口に備えてある筆談ボードを使用、時には大き

きな声で対応しています。軟骨伝導イヤホンは、相談支援・情報提供体制の充実に寄与するものと考えます。

質問 孤立集落が発生した場合は。

答弁 各避難所への分散備蓄、各支所出張所への一P無線機・衛星携帯電話の配備、

アマチュア無線クラブとの協定締結による情報連携、民間施設管理者も含めたヘリコプター離着陸場の確保などを行い、孤立の状況や被害等に応じて救助、物資等の対応と早期孤立集落の解消に注力します。

質問

避難所での長期的な生活

が困難な場合は、福祉避難所へ移動する形を想定しています。福祉避難所は総合福祉センターふじみを指定しており、市内

6箇所の社会福祉施設と

福祉避難所の協定を締結

しています。障がいのある方が避難所での生活に

支障をきたす場合に、段階的ではありますが、7

箇所の福祉避難所への受け入れを想定しています。

質問

本市総合戦略の重点目標に

「若者が住みたくなるまち

づくり」とある。目標実現のためには若者の声を拾いあげ、その声をまちづくりに反映することが肝要。若者議会や高校生議会等を開催し、直接若者の声を聞く機会を増やすべきでは。

答弁 現在、窓口に備えてある筆談ボードを使用、時には大き

きな声で対応しています。軟骨伝導イヤホンは、相談支援・情報提供体制の充実に寄与するものと考えます。

質問 聴こえにくい方との窓口対応の現状と、軟骨伝導イヤ

ホン導入について考えは。

答弁 現在、窓口に備えてある筆談ボードを使用、時には大き

きな声で対応しています。軟骨伝導イヤホンは、相談支援・情報提供体制の充実に寄与するものと考えます。

質問 孤立集落が発生した場合は。

答弁 各避難所への分散備蓄、各支所出張所への一P無線機・衛星携帯電話の配備、

アマチュア無線クラブとの協定締結による情報連携、民間施設管理者も含めたヘリコプター離着陸場の確保などを行い、孤立の状況や被害等に応じて救助、物資等の対応と早期孤立集落の解消に注力します。

質問

避難所での長期的な生活

が困難な場合は、福祉避難所へ移動する形を想定しています。福祉避難所は総合福祉センターふじみを指定しており、市内

6箇所の社会福祉施設と

福祉避難所の協定を締結

しています。障がいのある方が避難所での生活に

支障をきたす場合に、段階的ではありますが、7

箇所の福祉避難所への受け入れを想定しています。

質問

本市総合戦略の重点目標に

「若者が住みたくなるまち

づくり」とある。目標実現のためには若者の声を拾いあげ、その声をまちづくりに反映することが肝要。若者議会や高校生議会等を開催し、直接若者の声を聞く機会を増やすべきでは。

答弁 現在、窓口に備えてある筆談ボードを使用、時には大き

きな声で対応しています。軟骨伝導イヤホンは、相談支援・情報提供体制の充実に寄与するものと考えます。

質問 聴こえにくい方との窓口対応の現状と、軟骨伝導イヤ

ホン導入について考えは。

答弁 現在、窓口に備えてある筆談ボードを使用、時には大き

きな声で対応しています。軟骨伝導イヤホンは、相談支援・情報提供体制の充実に寄与するものと考えます。

質問

孤立集落が発生した場合は。

答弁 各避難所への分散備蓄、各支所出張所への一P無線機・衛星携帯電話の配備、

アマチュア無線クラブとの協定締結による情報連携、民間施設管理者も含めたヘリコプター離着陸場の確保などを行い、孤立の状況や被害等に応じて救助、物資等の対応と早期孤立集落の解消に注力します。

質問

避難所での長期的な生活

が困難な場合は、福祉避難所へ移動する形を想定しています。福祉避難所は総合福祉センターふじみを指定しており、市内

6箇所の社会福祉施設と

福祉避難所の協定を締結

しています。障がいのある方が避難所での生活に

支障をきたす場合に、段階的ではありますが、7

箇所の福祉避難所への受け入れを想定しています。

質問

本市総合戦略の重点目標に

「若者が住みたくなるまち

づくり」とある。目標実現のためには若者の声を拾いあげ、その声をまちづくりに反映することが肝要。若者議会や高校生議会等を開催し、直接若者の声を聞く機会を増やすべきでは。

答弁 現在、窓口に備えてある筆談ボードを使用、時には大き

きな声で対応しています。軟骨伝導イヤホンは、相談支援・情報提供体制の充実に寄与するものと考えます。

質問 聴こえにくい方との窓口対応の現状と、軟骨伝導イヤ

ホン導入について考えは。

答弁 現在、窓口に備えてある筆談ボードを使用、時には大き

きな声で対応しています。軟骨伝導イヤホンは、相談支援・情報提供体制の充実に寄与するものと考えます。

質問

孤立集落が発生した場合は。

答弁 各避難所への分散備蓄、各支所出張所への一P無線機・衛星携帯電話の配備、

アマチュア無線クラブとの協定締結による情報連携、民間施設管理者も含めたヘリコプター離着陸場の確保などを行い、孤立の状況や被害等に応じて救助、物資等の対応と早期孤立集落の解消に注力します。

質問

避難所での長期的な生活

が困難な場合は、福祉避難所へ移動する形を想定しています。福祉避難所は総合福祉センターふじみを指定しており、市内

6箇所の社会福祉施設と

福祉避難所の協定を締結

しています。障がいのある方が避難所での生活に

支障をきたす場合に、段階的ではありますが、7

箇所の福祉避難所への受け入れを想定しています。

質問

本市総合戦略の重点目標に

「若者が住みたくなるまち

づくり」とある。目標実現のためには若者の声を拾いあげ、その声をまちづくりに反映することが肝要。若者議会や高校生議会等を開催し、直接若者の声を聞く機会を増やすべきでは。

答弁 現在、窓口に備えてある筆談ボードを使用、時には大き

きな声で対応しています。軟骨伝導イヤホンは、相談支援・情報提供体制の充実に寄与するものと考えます。

質問 聴こえにくい方との窓口対応の現状と、軟骨伝導イヤ

ホン導入について考えは。

答弁 現在、窓口に備えてある筆談ボードを使用、時には大き

きな声で対応しています。軟骨伝導イヤホンは、相談支援・情報提供体制の充実に寄与するものと考えます。

質問

孤立集落が発生した場合は。

答弁 各避難所への分散備蓄、各支所出張所への一P無線機・衛星携帯電話の配備、

アマチュア無線クラブとの協定締結による情報連携、民間施設管理者も含めたヘリコプター離着陸場の確保などを行い、孤立の状況や被害等に応じて救助、物資等の対応と早期孤立集落の解消に注力します。

質問

避難所での長期的な生活

が困難な場合は、福祉避難所へ移動する形を想定しています。福祉避難所は総合福祉センターふじみを指定しており、市内

6箇所の社会福祉施設と

福祉避難所の協定を締結

しています。障がいのある方が避難所での生活に

支障をきたす場合に、段階的ではありますが、7

## 前定例会からの 地域公共交通の進捗について



東山洋昭

**質問** 市長は、しがらみ政治から公正・公平な市政へ。市民とつくる、市民のための上野原の中で「路線バス利用者運賃補助」を掲げています。私は、高齢者や障がい者等の移動手段の確保は、安心して暮らしていくまちづくりに極めて重要で、必要な施策であると考えています。公約を実行する意味でも、実証運行の考え方をやりませんか。

**答弁** 補助を行うことには、まだ解決しなければならない問題もありますが、極めて前向きに考えて行きたいと思います。

**質問** 市街地の買い物難民と言われる方への対応の進展は。

**答弁** 買い物に不便を感じている市民の方々が市街地でもいることは把握しています。特に小沢地区にありましたスーパーの移転により買い物のための移動が必要とな



他に、森林環境譲与税、森林環境税、森林経営管理制度等について質問しました。

本年10月から入谷地区の大堀交差点から新井方面まで拡大する予定です。

## 首都圏通勤通学者に支援を 若者人口の減少に歯止めを



川田好博

**質問** 第2期総合戦略について計画そのものの評価が必要であると思うが。

**答弁** 課題把握やそれに基づく目標値の設定などについても検証すべきものと考えています。その評価を踏まえて、現在第3期総合戦略の策定に取り組んでいます。

**質問** 市民の多くは通勤通学などで首都圏と結びついて生活をしている。これらの人たちへの支援を。

**答弁** 通勤通学者のニーズに対してどのような施策が効果的か、今後判断していきます。

**質問** デマンドタクシーの上野原駅への乗り入れなど、市民のニーズに応える必要があるのです。

**答弁** 利用者実態・需要に応じた運行内容を見直し、本年10月から半年間デマンドタクシーの土曜日の実証運行を実施することにしました。

**質問** 国勢調査では、24歳から36歳までの人口が大きくマイナスになっている。この転出に歯止めをかけることが重要ではないか。

**質問** 今後の取組として重要であると認識しています。

**質問** 出産に関して、助産師外来等での妊婦健診、周産期センターとの連携強化で不安や不便の解消を。

**答弁** その可能性については、指定管理者である地域医療振興協会と協議を重ねています。

**質問** 市内に居住する等の条件で奨学金返済に補助を。

**質問** 給付型にする等では、資金が枯渇し、事業の継続が困難になる恐れがあります。

**質問** 上野原市人口ビジョン第2期上野原市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 一般質問

### 獣友会の活動に対する支援の充実 防犯カメラの必要性



安留俊介

質問 獣友会は、シカ、イノシシ、サルなどによる農作物被害の増加などに伴い、土、日、祝日、年末年始も有害駆除や管理捕獲を行つており、

今後更に、クマの捕獲など市からの依頼は増えると思われるが、会員の減少や高齢化、活動資金の問題などを抱えている。獣友会が活動しやすい環境づくりや更なる支援が必要では。

答弁

有害鳥獣や管理捕獲の補助金については、実績に基づき支給しており、活動費が貰えないという話は特に聞いていません。今後、新たな取り組みがあるので、関係者間で検討します。

意見

獣友会に限らず様々な団体との信頼関係の構築は、市民参加のまちづくりに繋がります。活発な活動の為には何が必要かを十分把握した上で支援を願いたい。最近は、防犯カメラの設置

されていない地域を選んで犯罪に及ぶ傾向が強いこと

から、本市においても設置について検討する時期にきているのでは。

答弁

犯罪等の抑制には、防犯カメラが有効な手段になることから、今後、設置について検討します。

意見

防災対策とともに、防犯対策にもしっかりと取り組み、正に「安全・安心のまちづくり」を積極的に推進していただくことを切望します。

答弁

質問 青少年の健全な育成を目的とした「中・高校生などが集まる交流スペース」の必要性への認識と対応策は。

中・高校生が学校帰りに立ち寄り、互いの交流やプラ

イベートで集まるフリースペースへの「一ーザーの高まり」は承知しています。交流スペースの果たす役割は、第

質問 第3期子ども・子育て支援事業計画の策定方針は。

答弁 次世代育成支援対策推進法の市町村行動計画に位置付け、これまでの支援事業計画の理念や方向性を引き継ぎつつ昨年度実施したアンケート調査結果なども踏まえ、計画策定を進めます。

質問 小学校の校庭・グラウンドの試行的開放への準備は。

答弁 開放に向け不審者対策など国庫補助事業を活用した防犯カメラの設置を予定しています。国庫補助の国の採択の決定を待つとともに、

並行して学校活動やスポーツ開放に支障のない事、学校管理下外での利用に向けたルール作りも行っていき、できるだけ早い時期での開放を目指します。

他に、こども園などの保育士配置基準の見直しに伴う新基準と新年度の運営状況について質問しました。

### 青少年育成に向けた 「第3の居場所づくり」について



八木一雄

質問 獣友会は、シカ、イノシシ、サルなどによる農作物被害の増加などに伴い、土、日、祝日、年末年始も有害駆除や管理捕獲を行つており、

今後更に、クマの捕獲など市からの依頼は増えると思われるが、会員の減少や高齢化、活動資金の問題などを抱えている。獣友会が活動しやすい環境づくりや更なる支援が必要では。

答弁

有害鳥獣や管理捕獲の補助金については、実績に基づき支給しており、活動費が貰えないという話は特に聞いていません。今後、新たな取り組みがあるので、関係者間で検討します。

意見

獣友会に限らず様々な団体との信頼関係の構築は、市民参加のまちづくりに繋がります。活発な活動の為には何が必要かを十分把握した上で支援を願いたい。最近は、防犯カメラの設置

されていない地域を選んで犯罪に及ぶ傾向が強いこと

から、本市においても設置について検討する時期にきているのでは。

答弁

犯罪等の抑制には、防犯カメラが有効な手段になることから、今後、設置について検討します。

意見

防災対策とともに、防犯対策にもしっかりと取り組み、正に「安全・安心のまちづくり」を積極的に推進していただくことを切望します。

答弁

質問 青少年の健全な育成を目的とした「中・高校生などが集まる交流スペース」の必要性への認識と対応策は。

中・高校生が学校帰りに立ち寄り、互いの交流やプラ

イベートで集まるフリースペースへの「一ーザーの高まり」は承知しています。交流スペースの果たす役割は、第

質問 第3期子ども・子育て支援事業計画の策定方針は。

答弁 次世代育成支援対策推進法の市町村行動計画に位置付け、これまでの支援事業計画

け、これまでの支援事業計画の理念や方向性を引き継ぎつつ昨年度実施したアンケート調査結果なども踏まえ、計画策定を進めます。

質問 小学校の校庭・グラウンドの試行的開放への準備は。

答弁 開放に向け不審者対策など国庫補助事業を活用した防犯カメラの設置を予定しています。国庫補助の国の採択の決定を待つとともに、並行して学校活動やスポーツ開放に支障のない事、学校管理下外での利用に向けたルール作りも行っていき、できるだけ早い時期での開放を目指します。

他に、こども園などの保育士配置基準の見直しに伴う新基準と新年度の運営状況について質問しました。

質問 獣友会は、シカ、イノシシ、サルなどによる農作物被害の増加などに伴い、土、日、祝日、年末年始も有害駆除や管理捕獲を行つており、

今後更に、クマの捕獲など市からの依頼は増えると思われるが、会員の減少や高齢化、活動資金の問題などを抱えている。獣友会が活動しやすい環境づくりや更なる支援が必要では。

答弁

有害鳥獣や管理捕獲の補助金については、実績に基づき支給しており、活動費が貰えないという話は特に聞いていません。今後、新たな取り組みがあるので、関係者間で検討します。

意見

獣友会に限らず様々な団体との信頼関係の構築は、市民参加のまちづくりに繋がります。活発な活動の為には何が必要かを十分把握した上で支援を願いたい。最近は、防犯カメラの設置

されていない地域を選んで犯罪に及ぶ傾向が強いこと

から、本市においても設置について検討する時期にきているのでは。

答弁

犯罪等の抑制には、防犯カメラが有効な手段になることから、今後、設置について検討します。

意見

防災対策とともに、防犯対策にもしっかりと取り組み、正に「安全・安心のまちづくり」を積極的に推進していただくことを切望します。

答弁

質問 青少年の健全な育成を目的とした「中・高校生などが集まる交流スペース」の必要性への認識と対応策は。

中・高校生が学校帰りに立ち寄り、互いの交流やプラ

イベートで集まるフリースペースへの「一ーザーの高まり」は承知しています。交流スペースの果たす役割は、第

質問 第3期子ども・子育て支援事業計画の策定方針は。

答弁 次世代育成支援対策推進法の市町村行動計画に位置付け、これまでの支援事業計画

け、これまでの支援事業計画の理念や方向性を引き継ぎつつ昨年度実施したアンケート調査結果なども踏まえ、計画策定を進めます。

質問 小学校の校庭・グラウンドの試行的開放への準備は。

答弁 開放に向け不審者対策など国庫補助事業を活用した防犯カメラの設置を予定しています。国庫補助の国の採択の決定を待つとともに、並行して学校活動やスポーツ開放に支障のない事、学校管理下外での利用に向けたルール作りも行っていき、できるだけ早い時期での開放を目指します。

他に、こども園などの保育士配置基準の見直しに伴う新基準と新年度の運営状況について質問しました。

質問 獣友会は、シカ、イノシシ、サルなどによる農作物被害の増加などに伴い、土、日、祝日、年末年始も有害駆除や管理捕獲を行つており、

今後更に、クマの捕獲など市からの依頼は増えると思われるが、会員の減少や高齢化、活動資金の問題などを抱えている。獣友会が活動しやすい環境づくりや更なる支援が必要では。

答弁

有害鳥獣や管理捕獲の補助金については、実績に基づき支給しており、活動費が貰えないという話は特に聞いていません。今後、新たな取り組みがあるので、関係者間で検討します。

意見

獣友会に限らず様々な団体との信頼関係の構築は、市民参加のまちづくりに繋がります。活発な活動の為には何が必要かを十分把握した上で支援を願いたい。最近は、防犯カメラの設置

されていない地域を選んで犯罪に及ぶ傾向が強いこと

から、本市においても設置について検討する時期にきているのでは。

答弁

犯罪等の抑制には、防犯カメラが有効な手段になることから、今後、設置について検討します。

意見

防災対策とともに、防犯対策にもしっかりと取り組み、正に「安全・安心のまちづくり」を積極的に推進していただくことを切望します。

答弁

質問 青少年の健全な育成を目的とした「中・高校生などが集まる交流スペース」の必要性への認識と対応策は。

中・高校生が学校帰りに立ち寄り、互いの交流やプラ

イベートで集まるフリースペースへの「一ーザーの高まり」は承知しています。交流スペースの果たす役割は、第

質問 第3期子ども・子育て支援事業計画の策定方針は。

答弁 次世代育成支援対策推進法の市町村行動計画に位置付け、これまでの支援事業計画

け、これまでの支援事業計画の理念や方向性を引き継ぎつつ昨年度実施したアンケート調査結果なども踏まえ、計画策定を進めます。

質問 小学校の校庭・グラウンドの試行的開放への準備は。

答弁 開放に向け不審者対策など国庫補助事業を活用した防犯カメラの設置を予定しています。国庫補助の国の採択の決定を待つとともに、並行して学校活動やスポーツ開放に支障のない事、学校管理下外での利用に向けたルール作りも行っていき、できるだけ早い時期での開放を目指します。

他に、こども園などの保育士配置基準の見直しに伴う新基準と新年度の運営状況について質問しました。

質問 獣友会は、シカ、イノシシ、サルなどによる農作物被害の増加などに伴い、土、日、祝日、年末年始も有害駆除や管理捕獲を行つており、

今後更に、クマの捕獲など市からの依頼は増えると思われるが、会員の減少や高齢化、活動資金の問題などを抱えている。獣友会が活動しやすい環境づくりや更なる支援が必要では。

答弁

有害鳥獣や管理捕獲の補助金については、実績に基づき支給しており、活動費が貰えないという話は特に聞いていません。今後、新たな取り組みがあるので、関係者間で検討します。

意見

獣友会に限らず様々な団体との信頼関係の構築は、市民参加のまちづくりに繋がります。活発な活動の為には何が必要かを十分把握した上で支援を願いたい。最近は、防犯カメラの設置

されていない地域を選んで犯罪に及ぶ傾向が強いこと

から、本市においても設置について検討する時期にきているのでは。

答弁

犯罪等の抑制には、防犯カメラが有効な手段になることから、今後、設置について検討します。

意見

防災対策とともに、防犯対策にもしっかりと取り組み、正に「安全・安心のまちづくり」を積極的に推進していただくことを切望します。

答弁

質問 青少年の健全な育成を目的とした「中・高校生などが集まる交流スペース」の必要性への認識と対応策は。

中・高校生が学校帰りに立ち寄り、互いの交流やプラ

イベートで集まるフリースペースへの「一ーザーの高まり」は承知しています。交流スペースの果たす役割は、第

質問 第3期子ども・子育て支援事業計画の策定方針は。

答弁 次世代育成支援対策推進法の市町村行動計画に位置付け、これまでの支援事業計画

け、これまでの支援事業計画の理念や方向性を引き継ぎつつ昨年度実施したアンケート調査結果なども踏まえ、計画策定を進めます。

質問 小学校の校庭・グラウンドの試行的開放への準備は。

答弁 開放に向け不審者対策など国庫補助事業を活用した防犯カメラの設置を予定しています。国庫補助の国の採択の決定を待つとともに、並行して学校活動やスポーツ開放に支障のない事、学校管理下外での利用に向けたルール作りも行っていき、できるだけ早い時期での開放を目指します。

他に、こども園などの保育士配置基準の見直しに伴う新基準と新年度の運営状況について質問しました。

質問 獣友会は、シカ、イノシシ、サルなどによる農作物被害の増加などに伴い、土、日、祝日、年末年始も有害駆除や管理捕獲を行つており、

今後更に、クマの捕獲など市からの依頼は増えると思われるが、会員の減少や高齢化、活動資金の問題などを抱えている。獣友会が活動しやすい環境づくりや更なる支援が必要では。

答弁

有害鳥獣や管理捕獲の補助金については、実績に基づき支給しており、活動費が貰えないという話は特に聞いていません。今後、新たな取り組みがあるので、関係者間で検討します。

意見

獣友会に限らず様々な団体との信頼関係の構築は、市民参加のまちづくりに繋がります。活発な活動の為には何が必要かを十分把握した上で支援を願いたい。最近は、防犯カメラの設置

されていない地域を選んで犯罪に及ぶ傾向が強いこと

から

## 人口減少に起因する

### 上野原市の諸課題について

**質問** 自治体間の連携による行政サービスの維持について。

答弁 人口減少が進む地方自治体では、複雑化する行政課題を一つの自治体だけで解決することが困難であると感じています。そこで市民との協働や近隣関係市とのコミュニケーションにより、関係性の構築や行政課題の情報共有を図って参ります。

**質問** 补助事業の活用について。

答弁 市の文化財保護審査会では、「食」や「食文化」についての審議等が行われたことが有りません。これを機に今後の審議会等において情報を提供できればと考えています。



小保 崇

**質問** 地方自治体の存続に関わ  
いて。



他に、郷土食の価値の明確化と保存・活用について質問しました。

答弁 非婚化、晩婚化、価値観の変化など複合的な要因が複雑に絡み合った現象と捉えています。第3期総合戦略の策定に合わせて現状の分析や市民ニーズを把握し、出生率の改善が図られ、人口減少対策に有効、かつ、特色のある政策に取り組みたいと考えています。

答弁 地方自治体の存続に関わ  
いて。



## 閉会中の委員会活動

### 総務産業常任委員会

委員長 清水一明  
副委員長 遠藤美智子  
委員 天野淳一  
安留俊介  
内田倫弘  
山口 薫  
杉本公文

閉会中の継続調査を行つた、「市のデジタル化について」と「市内の廃校施設について」を報告します。

未利用施設については、原則除却することとし、利用を望める状態で貸付、売却するなど、財政負担の軽減が見込める場合に検討していくことです。

市のデジタル化では、スマートフォンや「ごども園・保育所の欠席連絡」を行えるなど、「スマホ市役所」を県内で初めて開設しました。また、府内のデジタル化については、オンラインミーティングやチャットボットによる自動回答システムを導入し、情報セキュリティでは、ネットワークごとに使用するシステムを分け、インターネットは県と県内市町村がサーバーを集約することで、高度なセキュリティ監視を行っていることです。

現在、農産物加工施設や文化

財収蔵庫、さらに地区集会所や民間こども園への貸し出しなどに利用されています。

## 閉会中の委員会活動

### 文教厚生常任委員会

委員長 白鳥純雄  
副委員長 佐藤澄男  
委員 小俣 崇  
八木一雄  
川田好博  
東山洋昭  
長田喜巳夫

5月8日に、「今後の簡易水道事業について」閉会中の継続調査として視察を行いました。

始めに当市の簡易水道についての説明を受け、市直営の仲間川流域の浄水場1箇所と秋山流域の浄水場5箇所、13の簡易水道組合、15の小規模水道組合から成っており、今年4月1日時点で、施設の総水世帯は1千927世帯、総水人口は4千140人とのことです。料金体系は、月額・年額を定めた定額制や、使用量に応じた金額の支払い、毎月の積立金徴収など、各組合によって様々とのことです。

施設調査で、始めに尾続簡易水道組合の組合長から説明を受け、毎月施設修繕に積み立てているものの、近年は毎年設備の故障が発生するたびに修繕を行つていて、今後の修理代金が

不足することが特に心配される等施設の説明を受けました。

棚頭水道組合の施設調査では、平成7年に稼働してから現在までに、34回水管が破裂していて、施設の修繕としての積み立金のほとんどが、漏水管の修繕費に充てられるため、増圧ポンプが壊れた時に修繕費用が不足する等の説明を受けました。

委員からは、市全体で負担を公平化すべきという意見が出されました。また、今後は、財政措置を含め総合的に検討していく事を要望しました。



### 議会活性化特別委員会

委員長 八木一雄  
副委員長 清水一明  
委員 議長以外の11名

閉会中の5月23日に特別委員会を開催し、検討事項6項目の協議・検討した結果を報告します。『市民との協議の在り方』については、①市民との意見交換会を2月18日に市民30名の参加により開催。②休日・夜間の会議開催はデメリット等の多さから現状では開催しない。『政策立案・政策提言』は積極的に実施。『政務活動費』の支給は現段階では時期尚早のため支給しない。『討論交際の原則の見直し』は会議規則「なるべく交互に討論すべき」とあり、現行通りとの意見と、なるべく交互にとあることから柔軟に運用を、との意見も踏まえ引き続き協議をすることとした。『一般質問の持ち時間の短縮』は、説明者の答弁は含めず、質問時間のみを25分とし、時期については会議システム等の設定を考慮して

決定する。質疑合計時間は現行60からの短縮と会派代表質問は併せて今後検討していく事にした。『議会タブレットの導入』は、令和6年度予算に計上。現在は機種や会議ソフト等を選定中。併せて、タブレット端末運用基準検討会を設け、検討を進める事にした。

これまでに一定の結論が出ている項目もありますが、更に調査研究・議論を重ねて参ります。



# 市民の声

## コモアしおつに住んで思うところ



コモアしおつ団地管理組合前理事長  
恵本一信さん

コモアしおつに住み始めて32年が経ち、管理組合を経験した中で思うことは、次の通りです。特に施設の老朽化は、駅から団地に至る重要な昇降機の内、令和7年から毎年1基4年間かけてリニューアル工事を実施することになり、他にテレビ受信施設のCATV機器の改修工事等がこの数年増加しています。

このような中、従前から市に対し激甚災害時に国庫支援施設として、コモアブリッジの市道認定を要請してきました。市は、コモアブリッジ施設が被災を受けたとしても激甚災害の指定を受けられない場合もあり、仮に災害指定を受けたとしても被害程度及び被害額についての査定は国等が行うので、100%の補助金が出るわけではなく、足りない分は市、それでも足りない場合コモアの負担になることを理解した上で、現在協議を進めています。

是非とも市には今後のコモアしおつ団地のまちづくりの再生に向けても、この問題を管理組合が市と一体となり前向きに推進していくように協力をお願いします。

## 9月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 本会議 (初日) 傍聴可	4 議案調査	5 議案調査	6 委員会 予算特別	7
8 委員会 総務産業 文教厚生	9 議案調査	10 委員会 決算特別	11 議案調査	12 委員会 決算特別	13 委員会 決算特別	14
15 敬老の日	16 敬老の日	17 委員会 決算特別	18 議案調査	19 本会議 一般質問 傍聴可	20 本会議 一般質問 傍聴可	21
22 秋分の日	23 振替休日	24 本会議 一般質問 (予備日)	25 議案調査	26 本会議 (最終日) 傍聴可	27	28

## 議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

## 託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までの赤ちゃんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局(62-3344)へお申し込みください。

## 編集後記



暦の上では7月22日から8月6日までは大暑と言い、一年の中で一番暑い時期となります。その後、8月7日に立秋を迎えると、少しずつ気温が下がり季節は秋へ移り変わると言われています。ですが、最近は気象変動の影響でまだまだ暑い日が続き、ゲリラ豪雨など例年と比較できない現象が起きているように思います。短時間での激変に対して、観測情報や防災情報をいち早く役立て行動を起こしていくこと、そして何より日頃からの防災意識の向上が大切だと思います。

「自身の命を守る行動を」

(天野)

YouTube  
QRコードです



議会だよりの  
QRコードです



## 議会だより編集常任委員会

委員長	内田 優弘
副委員長	小俣 崇
委員	天野 淳一
委員	佐藤 澄男
委員	清水 一明
委員	安留 俊介
委員	八木 一雄